

■文化会館(マドカホール)				0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	自己評価	来場者満足度	入場率	事業実施者	
ア 子どもたちや親子を中心とした音楽や演劇、ダンスなどさまざまな形での体験機会や鑑賞機会の提供に努めます。										2事業			
アートマルシェの開催(第9回子どものためのアートマルシェ)	8月	参加者	141名	○	○		○	○	依然コロナ禍で、まったく制限なしにはできず集客も難しかったが、年々定着してきており、リピーターも多い。チラシにQRコードを取り入れるなどして周知方法も工夫した。今後も広報に力を入れて、新規参加者を増やしていきたい。感染症対策をとり、無事に終えることができた。	B	A	B	B
アウトリーチ事業	12月	参加者	60名	○					コロナ禍で、人との交流が少なくなり、子供たちの成長への影響を心配していた保育現場に非常に喜ばれた。感染症対策も考慮した企画で事業展開でき、子ども達の楽しそうな顔が見られたのは良かった。	A	A	—	A
イ 育成団体である「岸和田市少年少女合唱団」「岸和田市音楽団」「マドカドラマスクール」の活動を支援し、輪を広げる事業展開に努めます。										2事業			
育成団体「岸和田市少年少女合唱団」「岸和田市音楽団」 「マドカドラマスクール」指導者謝礼の支出	通年	指導者数	7名		○			○	少しずつ通常の活動に戻ってきた。団体のレベルを維持していくため、今後も連携を密にしていきたい。支援を続けていきたい。	A	—	—	A
「岸和田市少年少女合唱団」定期公演の開催 「岸和田市音楽団」定期公演の開催 「マドカドラマスクール」定期公演の開催	1/8(日) 11/27(日) 5/29(日)	入場者数	260 273名 585		○			○	育成団体の活動を発表する場を支援。各団体と連携しながら今後も継続する。	A	A	A	A
ウ 公募展である市展や地域で活動する市民や団体が参加するマドカ合唱祭の充実・発展に努めます。										2事業			
第73回岸和田市市展／受賞作品展の開催	5月～7月	入場者数 出品者数	2,178名 290名					○	出品者の高齢化は切実だが、若い世代の出品を広げるべく、募集要領の配布先を泉州地区を重点においた。	B	B	B	B
第35回マドカ合唱祭の開催	11月	入場者数	310名					○	事業の運営に関しては、実行委員会形式をとり、協議しながら内容を決めている。委員、また参加団体の意欲を高めていくため、仕組みづくりの強化が必要。	B	B	B	B

■文化会館(マドカホール)				0歳 ～就 学前	小学 生以 上	妊産 婦	障害 者・高 齢者	その 他	自己評価	来場者 満足度	入場率	事業実 施者	
エ 市民文化活動の場としての文化祭について、実行委員会の活動を支援し、事業の充実・発展に努めます。										3事業			
第74回岸和田市文化祭の開催	9月～11月	入場者数	17,551 名	○	○		○	○	昭和23年から続いている文化祭は、市民の文化活動の成果を発表する場として定着している。	A	B	B	A
文化振興功労者表彰式	11/3(木)	入場者数	343 名					○	文化、教育、スポーツ等の功労に対する表彰式典。	A	S	A	S
文化の日祝典記念事業	11/3(木)	入場者数	130 名					○	泉州にゆかりのあるピアニストの演奏を中心にナビゲーターが曲を解説する音楽会を実施し、多くの市民に楽しんでいただくことができた。	A	S	A	S
オ 障害者・児のための作品展の開催を支援します。										0事業			
カ 市内小中学校の音楽会や鑑賞事業、市内中学校におけるクラブ活動発表会などの子どもたちの文化事業の実施を支援します。										2事業			
芸術鑑賞事業の実施	通年		0 校		○				例年、利用校が1団体と少なかったが、コロナの影響もあり利用がなかった。	C	-	-	C
チャレンジ支援事業	通年		5 件 2 校		○				本番に近い環境を整え、提供できた。来年度は周知方法を追加・工夫し利用団体参加をより促していきたい。	A	A	A	A

■文化会館(マドカホール)				0歳 ～就 学前	小学 生以 上	妊産 婦	障害 者・高 齢者	その 他	自己評価	来場者 満足度	入場率	事業実 施者
キ 庁内のさまざまな施策と連携し、文化活動を通じた子どもたちの健全育成や地域の魅力づくりに努めます。										1事業		
塩田千春展 Home to Home 家から家	8月～9月	入場者数	2,662 名					○	岸和田市市制施行100周年記念事業として実施。展覧会の作品制作にあたって、本市ゆかりの若手アーティストや、市立中学校・高校の美術講師に参加してもらうなど、貴重な体験を提供した。また、展覧会の運営スタッフを市民から募集し、案内から誘導、簡単な説明などに携わってもらった。日本を代表する現代アート作家の一人である塩田氏とコラボすることにより、来場者から作品とともに建物も素晴らしいとの高評価を得ることができ、自泉会館の周知、魅力発信にもつながった。	A	-	A
ク 市民や文化団体等の主体的な芸術文化活動の支援、育成に努めます。										2事業		
自泉会館指定管理者(岸和田文化事業協会)への事業委託(4件)	通年	入場者数	266 名		○			○	自泉会館の活用促進事業として4事業を実施。企画を尊重しつつ、連携しながら支援していく。	A	A	A
共催事業の実施(4件)	通年	入場者数	1,196 名					○	マドカホールを会場とした事業に対し、会場負担の支援。	A	A	A
ケ ワークショップや講座の開催など文化活動の普及に努めます。										2事業		
アートマルシェの開催(第13回アートマルシェ)	3月	参加者	107 名	○	○			○	依然コロナ禍で、まったく制限なしにはできず集客も難しかったが、年々定着してきており、リピーターも多い。チラシにQRコードを取り入れるなどして周知方法も工夫した。今後も広報に力を入れて、新規参加者を増やしていきたい。感染症対策をとり、無事に終えることができた。	B	B	B

■文化会館(マドカホール)

				0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	自己評価	来場者満足度	入場率	事業実施者
コ 3館合同事業による市民参加や体験の機会を創出します。										2事業		
3館合同事業 岸和田風物百選展覧会	4月	入場者数	228名	○	○	○	○	○	岸和田市市制施行100周年記念事業の先駆けとして、市制施行60周年に制作された「岸和田風物百選」より市に寄贈された62点の作品の展示会を実施。当時を知る人には懐かしさを、また、若い世代にはその頃の様子を知ってもらう良い機会となった。	A	A	A
3館合同事業 令和 岸和田風物百選 ～伝え継ぐ岸和田～	12月	入場者数	352名	○	○	○	○	○	岸和田市市制施行100周年事業として実施。今だからこそ残しておきたい建築物、次代へ伝えていきたい風景等の作品(100点)を、岸和田にゆかりのある人(小学生以上)から公募。市長より直接感謝状も渡す等参加者の満足度も高かった。	A	A	A
サ 国際交流を通じた青少年の異文化交流や異文化理解に努めます。										1事業		
姉妹都市米国カリフォルニア州サウスサンフランシスコ市 青少年受入事業	中止		-名					○	令和2年度から続いて、コロナ感染拡大に伴い事業はやむなく中止となった。今後の市の発展にはこの青少年プログラムの成長が欠かせない為、次年度に期待する。	C	-	C